（別紙様式１）

純国産絹マーク使用許諾申請書

［（西暦）－第○次］

（西暦）　年　　月　　日

一般財団法人大日本蚕糸会

会　頭　○○　○○　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　申請者

　　　　　　　　　　　　　　　　　　所在地　　〒000-0000　○○県○○市○○0-0-0

　　　　　　　　　　　　　　　　　　企業名　　株式会社○○○○

代表者名　代表取締役　○○　○○　　　　　印

　　　　　　　　　　　　　　　　　　電話番号　000-000-0000

　　　　　　　　　　　　　　　　　　表示者登録番号　000　←新規未記入

　製造販売する下記の製品に純国産絹マークのシール等を添付したいので、純国産絹マーク管理規程第７条第１項の規定により、純国産絹マーク使用許諾契約の締結を申請します。

（純国産絹マーク特例管理規程による申請のとき）

　申請者が製造販売する下記の製品に純国産絹マークのシール等を添付したいので、純国産絹マーク管理規程第７条第１項の規定並びに純国産絹マーク特例管理規程により、純国産絹マーク使用許諾契約の締結を申請します。

記

１．製品名及び生産数量

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　単位；反、本、着、枚、足、双

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 製品名 | 年間生産見込み数量 | マーク添付見込み数量 | 備　　考 |
|  |  | 　　　　　　枚 |  |
|  |  | 　　　　　　枚 |  |
| 合　計 |  | 　　　　　　枚 |  |

　記入上の注意

　（１）製品名欄には、後染反物（振袖、訪問着、色無地等）、先染反物（結城紬、大島紬等）、帯、和装小物、裏絹、スーツ、ブラウス、セーター、コート、ネクタイなど製品の一般名称を記入して下さい。

（２）備考欄には、次の事項を記入して下さい。（別紙に記入しても可）

①　反物は、製品の名称（振袖、訪問着、色無地、結城紬、大島紬等）及び製品の特徴

②　洋装品は、商品名（ブランド名）、布帛・ニットの別及び製品の特徴

③　寝具寝装品は、製品の名称（ふとん、ふとんカバー、敷布、タオルケット、毛布、寝衣等）及び製品の特徴

２．シール、タッグにおける生産履歴の表示内容（シール、タッグ（大、小）の別）

　注　規程運用１．（３）イ参照

３．連携企業名　（企業名は正式名称で記入すること）

制作企画　　　　　　　所在地 〒000-0000　○○県○○市○○0-0-0

　　　　　　　　　　　　　企業名　　株式会社○○○○

　　　　　　　　　　　　　代表者名　代表取締役　○○　○○

　電話番号　000-000-0000

繭生産　　　　　　　　所在地 　〒000-0000　○○県○○市○○町0-0-0

　　　　　　　　　　　　　企業名　　○○農業協同組合

代表者名　代表理事組合長　○○　○○

電話番号　00-0000-0000

製糸　　　　　　　　　所在地 〒

　　　　　　　　　　　　　企業名

代表者名

電話番号

○○・○○　　　　　　所在地 〒

　　　　　　　　　　　　　企業名

代表者名

電話番号

４．製品の特徴

（製品に国産の繭又は生糸の特徴又は希少性をどのように活かしているか具体的に記入）

５．ポスター等宣伝資材用にマークを使用する場合は、資材名を記入すること。

　　資材名

　　（資材名には、チラシ、パンフレット、ポスター、名刺、梱包用資材等純国産絹マークを印刷する　具体的な資材名を記入）

６．担当者名

申請企業名

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 担当者名（役職名） | 住　　　所 | TEL・FAX | E-mail |
|  | 〒 |  |  |
| （製作企画企業） | 〒 |  |  |

注　制作企画企業がある場合は、併記して記載してください。

７．添付資料

（１）申請者の印鑑証明書及び現在事項全部証明書

（ただし、蚕糸会が承認した蚕糸・絹業提携グループの代表者については省略することができる。なお、会社の事業内容を紹介した要覧、パンフレット等があれば提出してください。）

（２）製品開発企画書（別紙様式２）

（３）生産・販売計画（別紙様式３）

（４）純国産絹マークのシール等交付申請書（別紙様式５）

（５）商品見本（無い場合はイメージ図）

（６）その他蚕糸会が必要と認める書類

注　５．の資材利用にあたっては運用基準２．（２）に基づくデザイン見本を提出してください。